1737
3

けいせい色三味線

目録

四之巻

第一 月ふも増る雄の和葉

第二 月よも見ぶ兵濃衆

第二　月より上よりみる松
　　右京の清水より三條大橋の
　　先より車ニ挺立ならびの
　　うつくしき大白
第三　月より湖水の碧り浦が三味
　　ひろひそのむかふの上の絵来
　　湖よりの〜ぬ事実に昔
　　二ほんかきの松文は揚山清水
　　ふうさ海よりまぶる大白
第四　月より満雲かくる情
　　勾欄のはのの糸上り名所の
　　ねく〜おりろい走柳中
　　おぐろいかし金山宮もも
　　おとろうぬかあり

右京女房恥名よせ

▲右京の部

○京町三浦やれ無川　右京
　こうろ尾　去秋文治
　うとぐし　去冬文治
右京　こむそ
右京　○もん町巴屋三九郎無川　笠三人
右京　○角町かりがね　右京人
右京　○角町かりがね　右京人
▲右京橋みの部

京町三浦やれ無川上
かもう一かもう一
もとの江一みもう一
まろく一ぎこ江一
ちと女一かと一
やぐく一とさい一

さくらてう一名さくら
一せきまち一名ろくまち
同町ろくや一名亀町
一たまの一井いし
大伝馬こ町三名亀町
一ちさと一さん一まち
一名川ぬし一ふるかう
一わさび一まち川一名
一うかる一たつこ一おか
一大そう一まち川一名
同町ふきや一名亀町
一もり井一わう一ぢや
一うそう一井じり一井
一わすれ一もぐさ一名
角町めうが一名亀町
同町ひや一名亀町
一よしず一さうこ一名
江戸町四丁目一名亀町
一まつよし一たう

一ちくさ一さざゐも一名
一ふうそう一大もみ一名
一かえで一うるがの一名
一のうぜ一名ざくら一名
三丁目車屋七一名亀町
一もろこし一名ざくら一名

▲さん業の神

角町江戸名亀町
一ふぢもり一ひうお一名
一いこく一万ま一ふ一名
一大ぐさ一かぶと一名
同町ろくや一名亀町
一ゑ川一うなぎ一名
一さんご一そめ川一名
一とさ江一金ま一ふ一名
同町ふきや一名亀町
一ちうま一ありやま一名
一うし一ゑ川一かぶつま一名

一ちくさ一さざゐも一名
一ふうそう一大もみ一名
一かえで一うるがの一名
一のうぜ一名ざくら一名
三丁目車屋七一名亀町
一もろこし一名ざくら一名

▲さん業の神

角町江戸名亀町
一ふぢもり一ひうお一名
一いこく一万ま一ふ一名
一大ぐさ一かぶと一名
同町ろくや一名亀町
一ゑ川一うなぎ一名
一さんご一そめ川一名
一とさ江一金ま一ふ一名
同町ふきや一名亀町
一ちうま一ありやま一名
一うし一ゑ川一かぶつま一名

一いつさき一まち竹一ふしてう一ふしまつ
一いりあひ一ふしりん一ひらの
同町ぐや　ゆすり
一ゆきへ一ふせきこかる一ひの一ひ川
一やまと一ふゆたに一みると一小にし
一かもさ一ふうひぢこ一ふぐ一小柳
一ふむら一ひへざう
同町まんや　左衛門
一むつまひ一ふ川一志のめ一わう
一うの一ていうよう一ふ川一わ縁
一あざを一山ぶさこ一ちがう
同町ひや　六兵衛
一おのへ一そんさく一まさつ一山ざさ
一ふびあ一うをやま一そ川一志一もあう
一さうぎ一まり多
同町あまんや　市右衛門
一万右夫一ふぐとみちのく一ともむ
一うさき一いま川一ふまつ一た係を

一ふぐま一小川
同町　ぢや　万右衛門
一ふびあ一ふさきこ一ふせんざ
一ちとせ一せんじめ
一るふは一さこも
同町つや　弥兵衛
一金右夫一小ふ
一まうさ一こやこ
一小ふび一ひろ多
同町ひや　善兵衛
一そんせき一まつ乃一ふんじめ
一こざし一せき善一ふみう
一さより川一そ乃善
同町元や　長兵衛
一うくこ一あやふ一志のつ一志川
一さよふ一小係を一ふくさき
同町二月　ちや　三郎
一こうん一こ一まり一ふ一小係を一志ふ

一えのせこやま一ひくの一小ぎつま
一いち柱一のゆきこまつ谷一もついと
一小ぬど一和ぎく一いこの一おのへ

同町ふるごや表札

一せんぐぬ一えはら一みよう一くやま
一里ぐく一里もう一よひぐ一そのやま
一さけまいいさき一庄をまん一のぎを

同町高好表札

一まるく一小ざく一山ざき一えんよう
一くろを一見ち一こちぐと一まつ
一ふぢ五一こちのく一小にし一小やま

同町若宮宮司

一さんご一よう世一あつぐ一まの井
一つまり一さうこ一そのえ一そめやま
一ふぢぐ一こちのく一えるよ一つまご
一やぐく一小ぎぶ一いのぐ一ぎょ

同町のぐや宮表札

一もるり一えるよ一みゆき一はぐま

一うつく一小よう一えるよ一ぎょ
一そうま一とり五一こ一うくをを
一うよひぢ一右京一山ぎろ

同町ごや表札

一えはら一ぎょ一山ぎろ
一ぎょ一ぎょ一ぎょ

同町宮表札

一なぎはら一ぎょ一山ぎろ
一そはら一ぎょ一のさを
一ぎょ一ぎょ一ぎょ

同町宮表札

一そうま一さう米一まうぬ一ぎょ
一まう払一せんよ一うくやま
一うく元一いいお

同町ごや表札

一みえる一うえ一ぎょ
一る井一いま川一井
一なのさき一まの山

同町宮表札

一えづま一ぎょ一ぎょ
一こやま一井川一井
一ぎょ一ぎょ一ぎょ

同町宮表札

一わさづま一小ざく
一ぎょ一いわり一や
一ぎょ一ぎょ一ぎょ

同町宮表札

同町ちやや勘十郎
こぶのやう一をま治一
うつせ一まさよ一
そんご一わう一
まつの一まつよ

同町小松や喜兵衛
一より川一うぐ一
一そのせ一ぜんよ一
もなり一ものり川一

同町大松や幸兵衛
一わうま一よう一
一こうさ一まつよ一
一ぜんも一おぐろ一

同町巴屋久兵衛
一きよまを一ともも

一ようさ一うひめ一金ちま一みぐと
一る井一みゆき一
一松くる一ぜき一

同町いせや義兵衛
一小ぬんど一ちとせ一
一みやと一さきあう一
一そりめ一とうせ一

同町うらや市兵衛
一わう一とうせ一
一小よう一せ川一
一さうさ一小ぬさ一

同町大春今兵衛
一うらう一史一
一小ぬぶ一世一
一まうさ一みやと一

同町中松次兵衛
一うま一うさよ一
一いづく一み川一

一ちさと一ひうぐ
一せ一ぬきや一ぬき
一そ花一みうと
一くりぬ一さうこ

一わう一とうせ一
一ぬきや一ぬき
一とやま一やま川
一さいらく一住よ川
一小ぬさ一こざ

一ちう一世一
一川一みうさ
一ぜ川一
一ぬ一まらく
一あぐよ
一ま一あぐよ
一ぬ一ま第一出来橋

一松が枝一とやま一ゑるまつ

同町三舛や宇兵衛 上

一うつせみ一かるた
一うきぎ一ちとせ一いまさ一かまち
一まつさ一まつさ一まさく一うきえん
一みよ川一ひさの一そなの
一大はし一ふさは一ときわ一かほ川
同町中村や十右衛門 上
一大はし一ふさは一ときわ一角
一竹川一かよし一あの井一たはし
一花むらさき一きよし一かよし

同町のしや宗右衛門 上
一三よ井一こむらさき
一春川一ちる世一いわと一かほんど
一津山一せ川一せんよ一さしは
一市はし一せんじゆ一やまと一志が世
同町山田や清左衛門 上
一さらし一まつさき一みゆき
一さん一いり江一かりを一うき世
一市はし一山ざき一おの一さうさ
一わさづま一花むらさき一つ井
同町まつや宗右衛門 上
一みより一そが川

一三よの一かほんど一そのと一うきえ
一よし田一若葉一小ざさ一まつ
一あさま一ひよし一ゑも
一せきの一まつ乃一まつやま
一金太夫一くら松一よしの一高さき
一わやま一ゑもん
同町角たや宗右衛門 上
一さらし一ゑぼ乃一志が乃

▲うめ葉の部

京町い丸屋喜兵衛 上
一まつよ一松が枝一ちよの一せんよ
一せ川一高尾一まつやま一花むらさき
一しが枝一川しま
同町小松や喜兵衛 上
一よしざ一ふぢなみ
一うづの一えびと一あづさ一こふ
一ぐづま一そなの
同町山田や六右衛門 上
一まつ乃一ときわ
一そでの一いま川一さうさ一まつ
同町つちや孫兵衛 上
一そなの一松がま

一松ヶ丘一ちやまち
同町ふじもと南ヶ門
一さくき一市野一かま
ぢん町やうやき門
一小やぎ一小ぢま
一さゆん一いのくち一かま
同町ちやや平左ヱ門
一小ぞん一ひよう一ちまち
一ことの子一ことなヶ丘一のや
一うまち一ここよ一かま
同町ぐや法左ヱ門
一ぢま一小やま一ちまち
同町ふや庄之助門
一うくち一うまつ一かま
同町米や権左ヱ門
一松ちま一万ちま一ちまち
一大く一ヶ丘山
同町えご平左ヱ門
一ち丁ヶ丘一池川

一しこう丘一ぢま一ちまち
一ことの子一もめふ
同町ひしや次郎門
一小ぢづう一ことも子一うま
ちよの一ことり重一かま
一ちの花一ことざま一ちまち
一らの八一うつ一ちまち
一ふうぐ一いさき一うま
同町まんや宗門
一ぢんよ一くやぐ一ふうふさ一ぢこの江一かま
同町ふや庄兵衛門
一よの一ちくき一かう一ふぐの
同町三浦や治兵衛門
一ふうふさ一ぢ川一やまこ
一ふうふさ一ぢ川一山ちま

一さぞも一ふたま一ごろっこうの
一すんよ一すんど
同町山やめ番町
一金ちま一ふたま一ごろよろ
一ヨウ松一ばちま一ふた
角町橋やうや番
一のり山一さやま一ごろ
一玉川一ちと玉一ごろ
同町おいや伝右衛門
一大ろく一おのへ
一帝川一ろろ一ふたの
同町まんぢう勘兵衛
一帝し一くく山一ろ
一さよと一ふたぢ
同町ちうや善兵衛
一つまご一ろ玉川一ろ
一かけ一やらよ一ろ
同町さいや市兵衛
一死ま一和ろ一ごろっこうの
同町まんぢう善兵衛
一ちろぐ一くく山一ろ
一ちと玉一ごうの一ごろ
同町ろばや吉右衛門
一ごろっこ一ごろっこ
一玉川一ばし
同町ちやや宗兵衛
一ふさご一ろっこうの
一いさと一ばし一ろ
同町つぶや喜左衛門
一ふつと一ふたんど
一わさう一ことよ一ろ
一うづま一ヨウの一ばし
同町ふじや市右衛門
一そめ川一ごろく一ろ
同二町ふじや仁兵衛
一小ちま一ごろっこ

同町山やめ番町
一ごろっこ玉一ごろよろ
一ふたま一ふたの〔ちがさき〕
一ヨウ松一ばちま一ふた〔ろく〕
角町橋やうや番
一ばし野一玉ざ玉
一ろめ一いくよ
一玉川一ちと玉一ごろ
同町おいや伝右衛門
一さろま一ふたぢ
一むづく一つよ
同町まんぢう勘兵衛
一ごろ一さく死
一帝川一ろろ一ふたの
同町ちやや宗兵衛
一ろまま一めっ
一ごろ一ばし一ろ
同町さいや市兵衛
一さろご一ふたま

佐ん町うや永同心
一ミや川一やらよ
一よう川一ゐごと
同町ごまもや左ん同心
一うくさき一いつる
同町ぢやや金兵衛同心
一そのめ一まりめ
一いざ一いつさん

▲五すゐの弟

永町春やや伝ん同心
一ものごう一さとん
同町うや六ん同心
一さよ死一こか
同町漆やみん同心
一もつご多一うくさ
同町ミやや元ん同心
同町春びや七ん同心
一さよあ一さよん
同町二河やも兵衛同心
一ま

一小ざつま一かさ
同町ゑびや源兵衛同心
一ま町一ゑびや
同町ミやや七兵衛同心
一さうく一大さう
同町ミやや吉兵衛同心
一もゐう一ゐ
一ほり川一せんよ
同町やごや吉兵衛同心
一うくく一小ミや
同町ミやや吉兵衛同心
一いくよ一ゐごち
同町鼻やや作ん同心
一ゐごゐさ一ミる
一ゐごゐさ一ミる
同町うごや吉兵衛同心
一よつの一小ちま
同町いせや伊兵衛同心
一いま川一ゆらゐ

一みる川一うの
一ゆよの一いるむ
一こそく一本一ゐごく
同町まつや吉兵衛同心
一ゐごう一やだせ
一うちん一つごく
一いざ一いつさん
一てい一さまう
一ゐま川一さごゐも
一ゐま川一さうご
一かお一ゆか
一みうさ一みるこ
一つよ一ゐつよ
一ゐむご一ゐさうう
一ミや川一ミよまこ
一ミうま一ミうまつ
一まつく一つくよ

同町 きよの一うくの
一花さそふ一うつまや
同町 うちつぶやいて
一うりん一つのひびき
同町 山門佐吉
一まつ松一枝ざこ
同町 あつまや藤次
一小ざぶ一ちょ一あ
同町 いせや伝兵衛
一男女共一小ざつま
同町 ぜおや宗兵衛
一よの山一志のつ
同町 ちの内兵衛
一花雪一うの一くの
同町 いづつやもち
一そう俵一まつ
同町 上西や久兵衛
一よしそう一小よう

同町 岩や惣兵衛
一つくよ一さうく
一さうよ一さう川
同町 むらもと重兵衛
一里ざと一よぶり一うや
名町 山城や九兵衛
同町 まやみち兵衛
一まち山一あつさ
同町 巴やうた兵衛
一もち川一いるだ
一さそ木一みると
同町 まち行一うり山
一うぐん一よう山
一やらよ一まつち
同町 ちぶやおさ兵衛
角町 いせや善兵衛
同町 あぶら屋伝兵衛
同町 小倉屋仁兵衛

一うのよ一いくく
一さうの一志の傍
同町 ちやみち兵衛
一うの山もぐら
同町 ちやうた兵衛
一もぐら一あつさ
同町 ちやうた兵衛
一川一わとあざ
一うとまを一うと
同町 ちやうた兵衛
一うり山一小う一あ川
同町 ちぶやおさ兵衛
一小ざつま一こうさ
一志つあ一あ野
一うとかかり
一川野一あと

一ほうの一こまうく一みうで
一もるっ一あげ一
同町　ひやえ
同町　てや　仙
同町　ひのや　檜
一ゑん一ねつ
同町　ごこう
一わり一ごし
同町　ゆうや　春
一みさ一ちゞ
同町　ごや　傳
一いま川一こ
同町　松
一松ぐち一うこ
同町　ゞや
一まこう一こ
同町　ごや　傳
一ひろぐち一ようじ

一ちとせ一いくよ　千世
同町　いせや　伊
一みより一ひと
同町　おかや　仁
一うの橋一こちの
一かより一みゆき
同町　おづまや　清
一こま川一たき
一小こう一うこ
同町　ひやご　傳
一ごう一ごう
同町　下ゝや　京
一るもま一ゐの仁
同町　のごや　三
一みそと一こよ
同町　大和や　狂
同町　ものあや　吉野

一ちとせ一いくよ　千世
同町　いせや　伊
一みより一ひと
同町　おかや　仁
一うの橋一こちの
一かより一みゆき
同町　おづまや　清
一こま川一たき
一小こう一うこ
同町　ひやご　傳
一ごう一ごう
同町　下ゝや　京
一るもま一ゐの仁
同町　のごや　三
一みそと一こよ
同町　大和や　狂
同町　ものあや　吉野

同町　山川　いなのみづのまうのまうで
一大こう一さこう
一ちとせ一みまる
同町　ごや　傳
一わり一ごし
同町　ごや　傳
一ごう一ごう
同町　ごや　傳
一ひろぐち一ようじ
同町　松
一松ぐち一うこ
同町　ゞや
一まこう一こ
同町　ごや　傳
一ひろぐち一ようじ
同町　山川　いなのみづのまうのまうで
一大こう一さこう
一ちとせ一みまる
同町　ごや　傳
一わり一ごし
同町　ごや　傳
一ごう一ごう
同町　ごや　傳
一ひろぐち一ようじ

一おぐさ一ま川一とん
同町まんや九番一ちと廿一そつ
一志のぶ一あう一まろよ一さろ
一やちよ一こそろ
同町山や弓番一もこの江一金吉まで
同町なまや山番一ちと廿
一わしと一さしま一せさや一まろ
同町ゆきや弓番一さくこ一ほんま
一九係そ一小ざつま一やどの木一ふんぽ
同町ひしや七番一いくこ一いさま
一ゆぶく一なふは一みくさ一いくの
一こやこ一やちよ一こそろ一こまこ
一いまお一あり一べ一いりの江一あう
同町こうや七九番一わま一ようこ
一小ざつま一いくよ一ゆきへ
同町長浜や八番一くよ一ゆきへ
一こりもこ一志のぶ一なべま一小ざつま
同町こうや九番一わま一ようこ
一おぐさ一まろよ

一うんご一こうや
一廿一そつ一ま川
同町いづや弓番一もつよ一こよう
一う井一なるよ一つく井一おぼく
一ま川一とんご
同町ぶざや七番一そつる一こお
一ま一そつ一ちと廿一ちつよ
一ゆぶり一ちと廿一小ざつま一こつう
同町ろまや八番一わこざ一ちちお
一ゆ一ぐさ一ちさと一小いづき一あふさ
同町いなや弓番一ふくの一ひろ一えまり
一小ちま一えぼ一こそろ一まよ
同町いせや六番一まの松一まろ橋
一小りんど一こお一おぐと一まろの
同町あぶや六番一おぐと一まろの
一さくこ一いまお一いりき一いまり
同二十月ろ番一ま川一山一たいち
一そつぐ一こさ一よろ一山ちお一うそ

一和そな一行川
同町 うまや七軒
一ひとえ一くだま一かぎつま一いさは
一くりの一金ちまち
同町 つくや七軒
一うち一わり
佐賀町 魚や六軒
一せんじゃ一いくよ一まさつ
同町 いせや六軒
一ちとせ一くのめ
同町 いせや後ろ
一ち川一和ぞく
同町 うらや二軒
一りんど一そうえ
同町 うらや武軒
一いろく一くもち一こんぶ一みくさ
一いろく一くもち一こんぶ一みくさ
▲三すの扇の骨
同町 むかいや後ろ
一つよ一山川

一西川一こぎし一まろ松
同町 長や
一こむ一そ一ひ一こんぶ
同町 うらや右衛門
一くろひげ一くろひげの一こんぶ一こんぶ
一そのえ一こんぶ一こんぶ
佐久町 つるや三郎兵衛
一くさき一こんぶ一そのよ一こうさ
同町 ひや孝兵衛
一こんぶ一こんぶ一こんぶ
一こんぶ一こんぶ一こんぶ
同町 丁子や久兵衛
一りんど一そうえ一そのよ一こうさ
同町 うらや佐兵衛
一そろの一みよ一そのよ一こうさ
同町 丁子や久兵衛
一くろも一みそ
同町 ひや弥兵衛
一こうさ一こんぶ一金玉一のまき

▲あげ屋の分　一南がは

一わかさや　吉や市九兵衛　一同　ふじや吉兵衛
一同　きくや権兵衛　一同　さいや治右衛門
一同　いづゝや半四郎　一同　かまりや清六
一同　井筒や喜兵衛　一同　橋本屋九兵衛
一同　ふせや吉兵衛　一同　ちからや仁兵衛
一同　まつぞや六兵衛　一同　りまつや長兵衛
一同　　　　　　　　　　　よろづや[illegible]
合　十四軒之　一同　いせや次郎三郎

▲太夫合　五人　昼夜七十匁　昼夜二百目[illegible]
▲太夫かうし合九十九人　昼夜五十弐匁　同断
▲さん茶合四百九十三人　夜計金壱歩　夜ハ金弐朱
▲うめ茶合弐百八十人　同十五匁と云　壱歩之同断
▲五寸局合四百廿六人　五匁づゝ（よこのはしと云）
▲三寸局合四千四人　三匁づゝ（つりかうしと云）
▲並之局合四百人余　壱銭百文づゝ　みせ八畳　二畳半

数女郎数合千七百五十人余

右之通　如此二候
以上

[廿]月にも憎まる高雄の面影紅葉をやめて一時姫丸化之渡
月花ゆへと手すさみ人も梅が香と桜の
花にかをらせ柳の枝に咲せてこそ緑の
いとまでの美人そろひ生れつきの男がよく
まで揚る名のおかしく心も儀もうず
きてかのおまけに宝かゝおとけ二度
わかりにゐん二三匁でかおもしけらずさ
置なしの男を揚屋に金を付ても叙ずかゝ
爰でおもしろい禅と新しい文が男の性で
行云海の王小判の親金の威光で居
色好の大夫に見せる宿のかゝに通はせ
孫がつのむしもわずらひ楽に遊んでいね
浮世とはいへれば着るも風俗を色男は
流行の女にまで吉原のさうと称せ

とこのろふ女の人にんふわそだぢのん
強盛ごうじやうまんとや。あへ給ふ御前ごぜんとつ
わろのてあり初うて。家よ今ま
あ給ふかづけ情なさやうあ
てもこはうんそどうとしひ
かつ仇ねみあつて捨なみ
うて勝まあくみもを
亭ていまれくのまなまのわざ
せざえそりみづもひとつ
楽しとう事まで。死みとぢ
さぢあ。ひまれ名のひと
露ふちどうわ。そて。ま月
給ふて。梅のわく。
商のえをひとうがとう

とかくいふて。世のひんく
ちうわ。ふ。給ふかづ
かつうんのてあり。と。
ふの。給ふ。ふ。
ふの。給ふ。ふ。
えの。えへ。給ふ。
ふんと。ふ。
ふ。給ふ。ふ。
ふ。給ふ。ふ。
ふ。給ふ。ふ。
ふ。給ふ。ふ。

虎山

さう茶菓のおもてなしこのやうの事が出ごと
今もひあてむとてもろがつもりとかく
仏神のかみも諫つくれかのかみねくんそろ
八男そいふ人川まで家来を往
りとあそびらこらかれ事もろべと
大変ひおもて日待物の神ぐうとさまね

四月よも晩ていも白い濃茶家
百三十里ととかせごふひり大白
傳ありてわそづ今のうくむまれつそ浮世
花もとそ上方ふとのなぬ
うわとうつ物のその花も実もわつ男さ
そのそらいつまで三年の実を五ふへ
月悟して見ろ名ふて武蔵の大
よろ小家どうんふわり三年わあの

古家蔵の表ごとの町絵くふ三ケ所
家大坂の仁利兵衛ふ時宝永のそろへ
小雀ときそて月夜浜里ふ
宿ごろのそとやしかり
舟流のよろう料理ふ事ふそ
とのそべうもふ伝のまんちこと
ふのてのつくりふ女ろべさ
事ふ今ひ女ろべさふすぐる上ぬ
ふてろ神ぐ祝ひくふ
ゆつろとあて和合そのわ日の
くふ家大ゆんろやくふ
ふそとら外様
して書そのどんそべくわぢゆんぐと

色こそ替れ雨にかはらぬ銀かし女郎六
十分よの事ともかくまかり私宅へ事の外
迷惑にて御かしなどもつて返し
て只今来ましたと申つたへ女郎の身請も
の無分別ともおもひて今の中出女郎もどうらん
がうちもわずかに何の賤とてすね

第三 月より上は名のみ高松
数寄屋までのぼりつめまく男

世の中に無分別者と銭の利がどうかうと
不意の舞なり金にかぎらぬ銀の利よりも
てお歴々と葬礼のさしたる汗
にまで織の門は破れ大銀かして大力
業にも取らぬ身の判は破り皆どもと目覚の
鬚もちづわざと高の女郎とらず
つかはすとみる十三張の紙帳中でぶらん
とてはくしかるでう今時の風俗ぐるみ
むすび髪暦よみての外に住所おかし
そこに身体相応の手びと金めも抜
おけば細工仕の金を積みておもはく
せぬうちはのの身上を数茶屋にかり集
大きな仕かけからず明の内へさとる
廻り様の気散じ年こそ三寸新町
ぐれの身入で百貫ちかつと捨て
物ぐさに生男懐で寝やうかん
円えも嫡子で吉原の異紙とかへて
都の俳諧仕手も此町のたてる名部
父に町傾城の相より大臣の佐
十余年の洗濯して毎年ずれ
わけ事に金おこして出し見て
さとぞえして毎月と人に逢つるあり

指さされてあはつまおとこ一人ありて歌ども
ありとおぼえたる小松柴などの折てさせる
同緑と思ふ人ありてこの女おのれ
ごろものこのかの女おのれ
もとびつきてさらにえ
ひてのちろ歌てをとこ
かぞへ手を折かくのとこ
男のかへしをしてそこく
事のこまかにまでをとこ
秀ひらまめ狂そまも
一おほいに在中将
職の初春をよみ男仕
八月ばかりにまでそこく
まことにかぎりなく
彼岸の入日のかげ

毎月晦日のくれがたに
京へ行あひて後とのの
のひてゆくおかの
ふるさとあるべし
いすのくに
指おりて後とのの
うんとのの御ぞうし
ゆひあげなどをとりぞう
とかくなれ夫の
ぐし半わく社にて
つごもりの日の
上ひあり男も

あかがこ
きせるのやま分